

令和3年度 後期学校評価分析

京都市立開晴小中学校

遅くなりましたが、後期学校評価アンケートの整理が終わりましたので、ご報告いたします。

保護者アンケートにつきましては、前回同様「オンラインでの回答」を採用いたしましたが、回答総数が272件と、さらに前回を下回る回答数となりました。2学期末の懇談時にもご案内をして、待ち時間にご協力いただくようお願いしましたものの、回答数を増やすことができませんでした。これまで同様に、アンケート用紙での回答も可能にしておりますので、ぜひともご協力いただきますようお願いいたします。3年生以上の児童生徒及び教職員についても「オンライン回答」を行っており、こちらの方は円滑に終了しております。

アンケートの集計結果については、別途まとめております。特に「実現度5.0」を下回っている項目については、今後の課題と受け止め、優先的に取組を進めてまいります。前期評価を上回ったものを青字で、下回ったものを赤字で示しております。

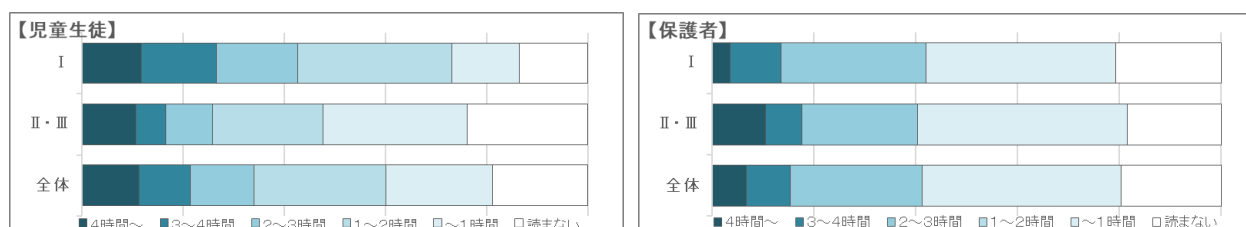
この結果については学校運営協議会理事の皆様にも供覧し、ご意見をいただいたうえで、本年度後期の調査結果として報告いたします。ご家庭におかれましてもご指導いただくとともに、子どもたちに役割を与えていただき、自己有用感を味わえるような機会をお持ちくださいますよう、お願いいたします

自由記述欄についても、さまざまなご意見を頂戴いたしました。すべて保護者の皆様の率直な意見として受け止めさせていただきます。お目通しの上、さらにご意見がございましたら、電話や学校メールにお寄せくださいませ。

なお、自由記述欄については、常体にすることや文意を変えない改変など一部表現を変えていること、同内容のものについてはまとめさせていただいていることをご了解ください。

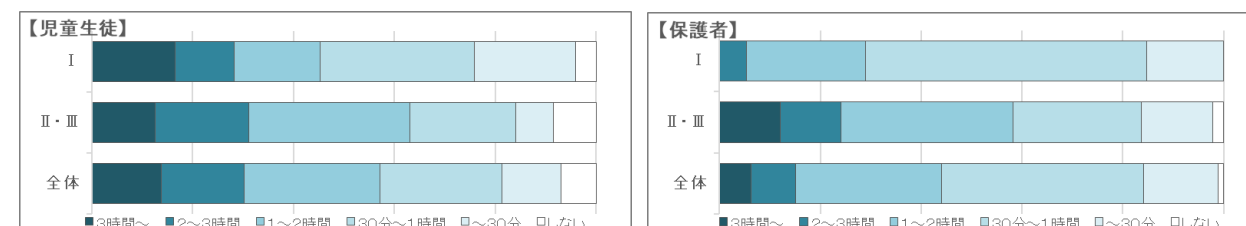
また、今回も教職員へのねぎらいや感謝の言葉をたくさんいただいておりますが、紙幅の都合上、割愛させていただきました。お詫びを申し上げるとともに、深く感謝いたします。

【1週間の読書量（朝読書を除く）】



学年が進行するにつれて家庭での読書時間が短くなるという傾向は変わらないものの、ここ数年「全く読まない」数が減少傾向にある。今年度も図書の貸し出しに制限があることを考えると、良い傾向にあると考えられる。また、長時間読む児童生徒が若干減ったものの、2～3時間読んでいる子どもの数が増えている。多感な時期に書物に親しむ習慣をつけてもらいたいと思うとともに、良質な書籍に接するよう指導していかなければならないと改めて感じる場所である。本校ではメディアセンター（図書室）が1つのため、いろいろな書物に触れることもできるが、発達段階に応じた本に出合えるよう、司書教諭の先生に工夫をしてもらっており、ようやくその成果が表れてきたところである。

【毎日の家庭学習時間】



昨年度に比べ、全体的に「全くしない」数が減り、家庭学習の習慣が定着してきているように思われる。部活動のない期間も長かったため、放課後の時間をどう使うのが重要であり、じゅる一ちよの活用でさらに改善を図りたい。また、本人の申告以上に、保護者の方が「勉強している」ようにお考えのようである。「勉強している」のか「勉強しているように見える」のか、ご家庭でも引き続きご留意いただきたい。

自由記述欄より

【行事の精選を含めた教育課程の見直しについて】

- 運動会見たかった。
- これを期に、組体操など、危険性の高いものは無くしてほしい。組体操に拘らなくても、他にも良いものがいくらかもあると思う。
- 体育祭が競う競技があまりなく、発表会のようにになっているので、切磋琢磨し、競い合い力を合わせる楽しさも知って欲しいと思う。
- 体育大会が無観客開催なのは致し方ない事だったと思うが、学年ごと参観の機会を設けて、出番の待ち時間もなくじっくり子どもの様子を見ることが出来、自分の仕事にも影響が少なくてとてもありがたかった。
- 体育大会は、参観として少ない種目だったが、ゆったりと見ることができ、結果的には良かったと思う。
例年子供を探すのが難しいほどの人と聞いているので、ある程度入替えなどは必要かと思った。
- 体育大会は全校開催のままで。他学年との交流の経験はとても貴重。
- 体育大会へ保護者参観が可能になることを願う。
- コロナが流行っていれば家庭訪問はオンライン、体育祭は無観客など今年と同じで良いと思う。今年宿泊学習が開催されたことが一番良かった。近距離ではあったが楽しい思い出ができたように思う。
- コロナ禍で計画することも大変だったと思うが、修学旅行の実施はありがたい。できないことに不満を持つのではなく、厳しい状況でも何ができるかを模索していくという姿勢を続けていただけるとありがたいし、その大切さを子どもたちにもこちらから伝えていきたいと思う。
- 最終学年の修学旅行、1泊では移動で終わってしまうので、2～3泊でゆっくり体験してきてほしい。9年間という長い時間を一緒に過ごした仲間とのかけがえのない大事な行事と考える。
- コロナ感染者数が少ない内は、宿泊学習をさせて欲しい。コロナ感染者数が少ない内は、有観客での運動会をして欲しい。
- 遠足、社会見学など、好奇心を育んだり、体験したりできる機会を作ってあげてほしい。
- 遠足を実施してほしい。宿泊学習は是非続けて実施してほしい。
- 近くでもよいので、校外学習(遠足)に行ければ、普段の学校とは違う学びにつながるのではと思う。
- 今年だけのことかもしれないが、5年生の宿泊研修の行き先と6年生の宿泊研修の行き先が同じなのはかわいそうだと思う。他の学校の6年生は淡路島に行ったりしているの。
- 昨年1年生の入学式直後の休校から始まり、非常事態の中でもなんとか学校生活を送り、今2年生も後半に入っているが、気がつけばまだ一度も遠足に行ったことがないということに気づいた。学校側からは現時点でできるかぎりの町探検などしてもらっているが、早くふつうの遠足も再開できればいいと思う。
- 修学旅行や泊まりがけの行事は出来るだけ実施で計画していただきたい。子供にとっては欠かせない教育として、お願いしたい。
- 宿泊学習を是非行かせてあげてほしい。
- 宿泊合宿において、何度も変更があり正直子どもたちは疲弊していたように感じた。やる事はしないといけないのに、楽しい事はできないとはっきり言っていました。しかしながら、様々なことに配慮して頂いた学校の先生方の工夫や努力、そこを家族で話し合ういい機会となった。毎月の学校たよりを通して学校の考えをより身近に感じ、親しみやすい場所になったように思う。
- 小学校の時にしか出来ない事、体験出来ない事がたくさんあり、私も遠足やサントリーの工場見学に行った事など今でも覚えている。大人達が自由にランチに行ったり、お酒をのみに行っているのを見かけてもしっかりと子供は感染対策を守っている。必要以上に中止にせず、いろいろな体験をさせていただきたいと思う。もう来年度は5年生なのでずっと楽しみにしていた社会見学はないのかと残念がっている。
- 少しずつ行事が増えてきた事が感謝。遠足が増えればなあ～と思う。
- 宿泊学習の実施はありがたかった。活動の中には気が進まないものなどもあったようだが、友だちと一緒にするということで全てが楽しい忘れられない思い出となったよう。
- コーラス大会が無くなったのが残念だった。
- 合唱コンクールが無くなったのはかわいそうだった。職業体験も貴重な体験なので、させてあげたかった。
- 発表会が見たかった。
- コロナ禍では難しいことだったが、授業参観はしてほしかった。クラスの様子やお友達の顔も見たかった。
- コロナ禍の影響で制限や変更の多い中、先生方には本当に子どもたちのことを一番に考え、行事等を行ってもらったことに本当に感謝している。低学年の保護者としては、参観日をもう少し設けていただければと思う。密を避けるためなら数日間にわたって参観可能日を設定する等、少し学校の様子が分かる機会があればうれしい。
- 学校での様子をみる機会が減ったので、感染者数の少ない時期に参観日などおこなってくれると嬉しい。

以前あった、一週間の内で好きなタイミングで参観するスタイルは、密も避けられるし、仕事をしている身としては調整しやすく大変助かる。

- 今年、一昨年とさみしい行事ばかりだった。もう少し見る事が出来る様に考えて欲しい。
- 今年は運動会以外の参観日がなく、クラスの様子やお友達の顔がわからないままだった。分散型でもいいので、参観日を設けてほしい。最近は親御さんの連絡先をしらないお友達とはなかなかあそびにくい状況で、参観日などがないと親同士のつながりもできずお友達とも遊ばせてあげれずにもどかしい気持ちでいる。このような状況に鑑みて、他校のように放課後遊びをさせていただけたらありがたい。
- 短時間の参観でも開催して下さることはとても嬉しい。
- 昨年のように可能な限り行事など学年ごとに参観できればよいと思う。
- 参観日はいらない。PTA 活動はいらない。運動会学習発表会は見たい。
- 小学校に入学してから一度も全ての行事を見ていないので、本来の様子が分からないが、来年度こそは短時間や保護者の人数を制限してもらってもよいので、時間帯等を分けて、運動会や発表会、参観などが出来れば嬉しい。
- 野外でできる体育大会など、保護者も観戦させてほしい。
- 部活での大会練習などが思ったように出来なかったのが残念そうだった。
- 4月のクラス委員を決めるクジ引きを中止にしてほしい。集まることが密になると、クラス委員などの活動は保護者の負担でしかない。
- PTA やクラス委員、地区委員は保護者の負担になるので、廃止を希望する。
- お任せします。
- コロナで行事を行いにくい中、工夫して子供達が経験できる事を考えてもらっているとを感じる。
- コロナとの付き合い方も分かって来たと思うので、何でもかんでも中止にはせずに出来るだけ遠足や宿泊、参加型の行事はさせてあげたい。親は参観せずに喋りに来てる様な方もおられるので参観は無くても良いと思いますが。
- コロナによる影響で決まったことに関して、子供に臨機応変な対応はなかなか難しいと思うので、任せすぎず、説明を怠らず、大人の声かけて安心させてあげたいと思う。
- コロナの影響で行事らしい行事が出来ず、運動会の楽しみ(全学年の家族が参観する事)、遠足などが分からない子がたくさんいるかと思う。淡々とした行事が当たり前ではなく、皆で仲良く楽しく出来る行事だという事を知ってほしい。子供たちが戸惑う事のないように、例年の行事の様子などを見せたりするのも楽しいかもしれない。
- 今まで当たり前と思っていた学校行事の多くが縮小されたり中止になったり、親としては寂しい2年間が続いているが、子どもたちは今の状況を受け止め今の環境の中で学び続けることが出来るのは、先生方が制限の多い中で苦心されながらも経験することを最優先に行事等を進めて下っていることのおかげと感謝している。
- 行事の様子を動画でもっと見れるようにして欲しい。
- 行事は無観客でいいので子供達のためにもできる限り行って頂きたいと思う。できれば、無観客の際はオンライン中継をしてもらえたらありがたい。他校でも取組んでいるようなので、外部委託など、先生方のご負担が増えない方法で検討してほしい。
- 今年コロナウイルスのためなかなか人と接して行うこと、また、力を併せて行うことが出来なかったと思う。来年は、課外授業や、人とのつながり、違った意見を持った人とも話しあっていけるような、そんな行事・授業を増やしてもらえよう希望する。
- 他校より行事が少なめかなと感じた。
- 親が学校生活での活動やパフォーマンスが見れる唯一の行事なので、各家庭に気を付けてもらい、子ども達の為にも学校の方でもしっかり規則を示して行事をおこなって欲しい。
- オンラインをもっと充実させて欲しい。
- プールの授業が受けられなかったし、プールでできる学年の決め方がどうなのかと思った。可能であれば、たとえ一回でも、全学年が受けれるスケジュールを考えられないものなのかなと思った。
- 姉妹校提携があるのであれば、海外の学校とオンラインで結んでみるのはどうか。
- 行事が少なくなっても、特に不便に思わなかった。
- これまでの学校側の対応で問題ないかと思う。
- コロナ禍の中で行事について、できる範囲で考えてもらっていたと思う。
- これまでのようにいかない寂しさも大変さもあるが、無駄か必要かを精査できるいい機会だと思う。先生方の負担を増やさない方向性も含め、調整しながらより良い形にしていけるようにしてもらえればと思う。
- コロナ禍で工夫した部分は今後にかしていけばいいと思う。
- 行事は減らしても良いと思う。家庭訪問は不要だと思う。

- 行事は現在くらいの量で良いと思う。
- 行事は先生方が工夫をこらして、一生懸命してもらっているのが伝わってくる。もし負担でなければ、今年と同じようなかたちで実施して頂ければ、ありがたい。
- 何でもかんでもダメにするのではなく、できるだけ今まで通りできる方法を考えてほしい。
- 今年のようにコロナの状況の様子を見ながら、出来る限り従来の行事を臨機応変に行う方向で願います。
- なるべく、実行できる形で願います。
- できるだけコロナ以前に近い形で実施。
- 例年通りに戻してほしい。
- 状況によって仕方ないと思うが、出来るだけコロナ禍前の行事授業内容に戻って欲しい。
- 子供の健全な成長のために、行事や部活動はできるだけ通常通り行ってほしい。
- 子供の健全な成長のために、行事はできるだけ通常通り行ってほしい。
- 子供の健全な成長のために、行事は通常通り行ってほしい。
- 行事があることで子どもたちの学びは深まる。子どもたちの貴重な一年を大切に、可能な限り行ってほしい。
- コロナの波は予測困難。今年の旅行の延期はやむを得ないと思う。子ども達には楽しみかつ思い出になるので中止とならないようにして欲しい。
- コロナ禍において仕方ないとはいえ行事が少なく残念だった。少しでも元に戻ればと思っている。
- コロナの具合にもよるが、この２年間我慢の連続だったので、それを取り戻すくらいの気持ちで、できる限り行事を行って欲しい。修学旅行を２泊にする、合唱コンクールをするなど。子どもたちが参加できるのであれば、観客の制限はするべきだと思う。ただやはり最後になるので、子どもが頑張っている姿を見たいし、せっかくYouTubeがあるので、配信していただければと思う。もちろん、直接見れることができれば何よりだが。
- コロナ化で一年生になったので、ほぼ経験していないのが可哀想でならない。なるべくコロナ前と同じ様に経験させてあげて欲しい。遠足がどんな物かもよく分からずに３年生になる。
- 自分たちで行事を作り上げていく中学生の時期に多くの行事が縮小されたり制限下で行われたり、中止になったり、もっと友だちとの距離が近くて密なのが中学生時代なのになあと自分の頃を比べていたが、子どもたちは制限下にあることはあまり気にせず、その中で自分たちらしく伸び伸びと生活しているように見受けられた。これは先生方が何度となく変更を余技なくされた中でも子どもたちにベストな形を模索していただいたおかげと感謝している。通信機器もルールやマナーの中で使いこなし、今までとは違ったコミュニケーションのカタチを得ているよう。来年度も今のような状況が続くと思われるが、運動会のライブ中継、参観日の分散開催、部活動の見学、校外学習等、子どもたちの学びはもちろんだが、保護者にももう少し学校内の様子が見えるようにしていただければと思う。
- 毎日の宿題は、習い事などある時や、その宿題があるので、親とゆっくりする時間や遊ぶ時間がほぼ少ない。何曜日とか週３回などとなると親も少し気持ちが楽になる。でも今は全国共通に毎日宿題があるようなので仕方がないのだと思うが。

【その他、教育活動全般についてのご意見】

- たまに宿題多いように感じる。
- 家に居る時間が長くなったが、学習時間は増えなかったのもう少し宿題があった方が嬉しい。
- 評価の付け方の基準が不明瞭で不満です。
- コロナ禍において水泳の授業が去年無く、今年も隔年や回数が少ないのは仕方ない事だと理解出来るが、ただそのような状況でスイミングを習っていない子が、例年の学年相当の距離？を基準に成績がつくことがあまり納得出来ない。
- トマト、二十日大根など、育てる事の楽しさや不思議、喜びが感じれる機会があって良かった。
- 家庭内で感染者が出て長期欠席をした際、自宅学習用の課題プリントなどはもらったが、復帰後の補習が充分ではなく、理解が浅いまの単元が残ってしまった。
- 後期課程において、教科ごとに配布されるプリントの数を減らして子供が整理しやすいような工夫をしてほしい。
- 平均点が半分前後のテストは、結果として授業や出題範囲や内容に大きく問題があり、生徒達の間でクレームになっているのに教師陣が全く把握してないのが問題。人気取りは必要ではないが、理解出来ない授業を進めることや、生徒間で人格にも問題有りと言われている教師を把握していないことも大問題である。
- 来年は全学年がプール授業を受けることができるようにしてほしい。
- 縦割りで上級生が下級生の面倒をみるという文化はとてもいいと思う。
- 小中学校の利点を活かした、異学年交流が素晴らしい。特に中学生にとっての小学生低学年との日常的な

- 交流がほぼえましく、中学生にとってもとてもプラスになると考える。
- 上級生との関わりを持てる授業は兄弟のいない子にとって貴重な体験でありがたい。
 - いろいろ考えて行事してもらえたのは良かった。
 - コロナ禍で体育大会を見学できるよう配慮して頂き有り難かった。
 - 体育参観がとても良かった。
 - 体育大会が事前に体育参観にしてもらったことで密が回避出来、見やすかった。
 - 体育大会の参観はコンパクトにまとまっていて大変ありがたかった。先生方やこどもが負担でなければ毎年参観だとありがたい。
 - みさきの家に行けて子供が大変喜んでいて。
 - 宿泊学習が短縮だったが、実施できた事は良かった。
 - 授業参観もオンラインでライブ中継で見られたらいいなと思う。
 - 個人懇談の時、半分くらい課題の説明で子供のことを話す時間が短すぎる。課題の説明はプリントで渡せばいいのでは。
 - 行けない行事は zoom などで見たい。コロナ禍でも色々対策しながら進めてもらっていると思う。
 - 高校見学など行けるようになったらなあと思う。
 - 参観日が全く無いのは何故か。体育大会のみの参観では、子どもたちの様子が分からず、先生方の雰囲気等もつかみにくい。
 - 部活の回数が少ないので、週に 1 回から 2 回に増やしてほしい。
 - 担任の●●先生の真面目さには本当に頭が下がる思い。どんな状態の子どもたちにも真っすぐに向き合って下さる姿はあまり接点の多くない今年のような状況でも保護者によく伝わってきた。多感で不安定な 5 年生の時期に要領が悪くても真っすぐ向き合ってくれる先生に出会えたことは本当に良かったと思う。
 - 開晴小学校の先生方について、とても気さくでありがたいのだが、気さくすぎるというか・・・ゆるすぎて心配になることがある。信頼はしているが、言葉遣いや、それを保護者の前で言うか？と、感じるが多々ある。また、とくに中学生の先生でしょうか？生徒のことを、おまえやあんた、と言っていたり、保護者に対しても子どもたちのことをあいつなどと言っているのも、とても不快に感じる。
 - 子供が、先生が別の先生に注意というか、指摘する時にとてもキツイ言い方をしていたのを見て、不愉快な気持ちになったそう。子供が見ている前では良くないと思うので書かせてもらった。
 - 子供の叱り方についてだが、悪いことをしている子の側でいて「注意をなさい」のように叱られる子もいるようで、この巻き込み叱りは可哀想だなと思ったことがある。そういう時は注意してあげてくれる？と、お願いされた方が気をつけるだろうし、友達との関係もギクシャクしない気がする。悪い所を目くじら立てて怒るより、出来たことを喜んで褒める方が子供はグッと伸びるんだなと実感する。なかなか難しいが。
 - 子供同士の揉め事があった際に、担任ではなく、学年主任の先生に「あやまらないといけないことあるやろ？●●の方（相手）は正直に謝ってえらい」と言われ、やった記憶はないが怖くて謝ったと話していた。最初からやったと決めつけるような言い方には少し疑問を感じる。学校では子供にとって先生は絶対的な立場で、その人から初めから決めつけられた対応をされると、信頼関係も築けないし、学校、先生、大人に対して不信感を抱きかねない。喧嘩両成敗でお互い謝ってスッキリはしているとは思いますが、今後はしっかりお互いの話に耳を傾け、それぞれの子供に寄り添った対応をお願いしたい。
 - 準備物やスケジュールのお知らせが遅い。土日が休みの親ばかりではない。仕事の調整は極力協力したいと思うが、学校側も時代の流れに則し、子育てに理解ある運営をお願いしたい。
 - 先生によって授業の理解度が変えることがあるよう。塾に通っていない子は学校の授業が全て。●●先生は子どもが理解していなくても進む授業、質問に行けない雰囲気、があるようだ。授業はしましたが、理解しているかどうかは本人次第というのでは困る。成績が悪いのは子どもの理解度もあるが、先生の教え方にももう少し努力するところはなかったのか、ということも少し考えてもらいたい。
 - 担任の先生を信頼して任せている。
 - 学年の雰囲気がとても良いように思う。先生方もいつもコミュニケーションをとりあい、配慮してもらっているように感じており、子どもも先生が大好きだ。
 - 8 年生はホームページの掲載が全くないのはどういうことか？
 - 9 年生体育の授業だが、生徒たちに競技（バドミントン）のペアを組ませるのは結構だが、好きな者で組ませ、生徒に任せて結局は競技出来ていない生徒がいても先生は把握していない。結果、どうやって成績をつけているのか？体育も頑張りたかった子供の気持ちは？競技出来なかった子供は体育が嫌い、やりたくないという気持ちになった。自主性も大事だが、トーナメント制にするなど全員が競技出来るように工夫してもらいたい。
 - 昨年度から続いて感染対策に注力もらい安心して登校出来ている。

- 放課後の校庭開放をお願いしたい。曜日別学年別でも構わない。コロナ禍でもあり子供達の発散の場が限られている。発散する事で心身が健全化され小さな揉め事が減るのではと感じている。
- コロナ禍で学校参観する事が減少している。これはあと数年は続くと心している。学校生活で先生が撮影した写真を販売してもらえたら嬉しい。ネット販売など、自宅で購入できたらなお嬉しい。
- 学校内で、コロナ感染者が出ても1人2人でおさまってるのは、先生方の感染対策がちゃんと出来てるからだと思っている。
- 学内でコロナ感染者が出た時の発表に関して、クラスや学年さえも出さず正確な情報をもらえないのは問題だと思う。何も分からないことで皆の不安をあおることになる上、控えることを知らない子供達は非常時も平気で遊びかねない。
- 日々のコロナ対応が曖昧にならないことを願う。
- zoomなどネット環境も以前より整いつつあるので、引き続き定期的に実施してほしい。リモートで学ぶことがあると思う。
- オンラインの取り組みはネット環境によって差があり今後も課題は多いと感じた。
- まだまだコロナの状況は落ち着いたとは言い難い状況下だが、タブレットを用いた学びが少しずつ定着していることは良いことだと思う。低学年には画面に向かって学びを進めていくことは高学年よりは難しい中、試行錯誤していただいていることに感謝している。
- 一学期末にあった『子どもたちの希望を聞いて先生が席を考える』という方法は、まだ3年生では早かったと思う。希望を出して、楽しみにしていたのに、全く自分の希望が反映されなかった時の絶望感は大変なもので、家では塞ぎ込み、毎朝、学校に行きたくないという気持ちを抱えて登校しており、励まして宥めて過ごした時期は、毎日心配ばかりしていた。先生の一存で決める、またはくじ引きで決める、といったほうが、変に期待を持たないだけ良いと思う。くじ引きでは、男女差が出たり、色々偏ることもあるかもしれないが、大人になって世間に出た場合、現在の世の中ではまだまだ、男女平等ということは難しいと思う。偏りが多々ある。くじ引きで偏りが出た場合、周りを見る、困ってるチーム（相手）を助ける、といった教育を進めてもらえると、将来の練習になるのではないかと思った。
- 10 kg以上の教科書、部活で使うもの一式を毎日持ち帰るのはとても負担であると思う。その日の家での学習に使わない教科書は置いて帰るなどさせてもらえれば、子どもの負担は減ると思う。
- 毎日重い荷物を背負って通学しているので、使わない教科書は持って行かなくてもいいようにしてほしい。
- ダメダメばかりじゃなく、やってみよう！を増やしてもらいたい。子ども達が苦手だと思っている事に対して興味をひく様に取り組んで欲しい。
- 安全な取り組みも大事だが、冒険も必要。
- 勉強や時間管理など大変と漠然と感じている様子が見られるので、なんのために今過ごしているのか、目的意識をもてるように、自分のこれから役立つ経験をしているということ、失敗していいんだということ、勉強の捉え方、先生はどういった存在なのかを子供にもよるのだろうが、凝り固まらずに思いを巡らせ考えられるとすてきなあとと感じている。
- 何でも柔軟に対応していただいていますので有難い。
- 働き方改革で、もっと先生の負担が減り、子どもへの教育に注いでいただけたらと思う。

今回のアンケートでも、たくさんの貴重なご意見をいただきました。心より感謝申し上げます。相反するご意見もございますので、すべてを叶えることはできませんが、趣旨を踏まえて次年度以降の教育活動に反映させていただきたいと考えております。

2年間にわたっての制約により、延期や中止となった行事もたくさんありました。ただ、繰り返し申し上げますように、何とか実施できるように方策を練ってきたことも事実です。判断の材料としては、まず、文科省や教育委員会からの通知があります。それを踏まえて、まずは児童生徒だけでの実施、さらに保護者の方等の参観という順序で実施の可否を判断してまいりました。今年度は参観が行えませんでした。準備をしていたところにコロナの波が押し寄せてきて中止せざるを得なかったというのが、実際のところです。また、宿泊学習については、キャンセル料のかかるおおよそ1ヶ月前に判断しなければなりません。結果的には当初の予定で実施できたのということですが、学校としては賭けのような判断はできません。この辺りもご了解ください。また、宿泊先の事情により、うまく日程変更ができず、場所を変えたという事情もございました。コロナ禍が収束した折には、また元のような形で運営できればと考えております。

ただし、すべてがコロナの前と同じようにということではありません。これまで「行事の精選」と言いながらも、本当の意味での見直しができていなかったことを痛感いたしました。それぞれの活動のねらいを十分吟味し、改めるべきは改めるという姿勢でおります。

これは、単にコロナによる制限というだけではなく、教職員の働き方改革に関わる問題もあります。京都

市では、平成30年度当初から、この問題に取り組んでまいりました。これまでの取組やコロナ禍での活動縮小により、教職員の超過勤務は一定減少傾向にあるものの、国が示す「月45時間、年360時間以内の超過勤務」を実現するには程遠い状況にあります。子どもたちと向き合う時間を確保するためにも、この機会をとらえて、実態の改善に努めたいと考えております。なにとぞご理解とご協力ほど、よろしくお願いいたします。

行事のオンライン放映や写真のネット販売についても、くりかえしご意見をいただいているところです。今すぐにでも対応できる準備は整っておりますが、肖像権の問題もあり、ネット上に子どもの画像が上がることをお認めいただけないご家庭があることについてもご理解ください。現在、写真は展示の形で販売をしておりますが、中にはスマホ等で写真を撮影されておられる方がいらっしゃるとの話も耳に入ってきます。良識あるご対応を重ねてお願いいたします。

この機会をとらえて、教職員の課題についても複数ご意見をいただきました。対応に不適切な点がございましたら、お気づきの折に学校へご連絡いただけると幸いです。子ども、保護者、教職員が連携し、信頼感のある関係を構築して、さらに前進できればと考えております。行き届かない点が多々あり、誠に申し訳ございません。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

文責:校長 山下 和美